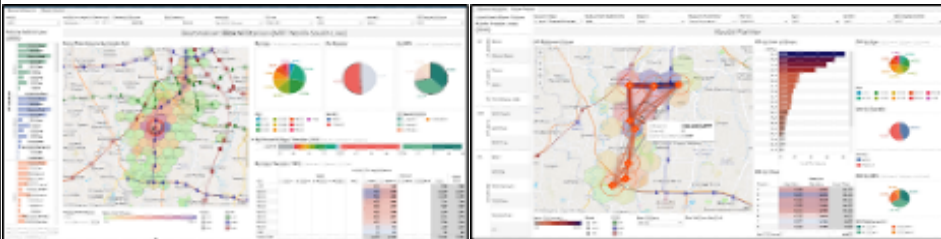


提出日: 2026/9/25

企業情報	企業・組織名	LocationMind株式会社			業種	商社/サービス		
	Webサイト	https://locationmind.com/						
技術・ソリューション	代表的技術名	モバイルビッグデータを利用した人流分析・人流予測						
	本技術が貢献する領域	「スマートシティ」						
	対象都市課題	交通・モビリティ	該当する	エネルギー	該当しない	防災	該当する	
		インフラ維持管理	該当しない	観光・地域活性化	該当する	健康・医療	該当する	
		農林水産業	該当しない	環境	該当する	セキュリティ・見守り	該当する	
		物流	該当する	都市計画・整備	該当する	その他(自由記述)		
	技術分類(キーワード)	モバイルビッグデータ、人流、モビリティ、船舶						
	技術の内容(概要)	当社は、地理空間情報を研究する東京大学柴崎研究室(オリエンタルコンサルタンツグローバルとのモバイルビッグデータ解析共同研究の実績あり)からスピニアウトした、社会実装を目指す位置情報AIベンチャーです。多層的な位置情報ビッグデータ処理技術と独自のAIアルゴリズムを保有しており、基礎から応用まで幅広いデータ分析を提供しています。人・モノの活動を多角的に分析するため、人流・車流・船舶データを活用し、多種多様な業種の課題解決に貢献しています。 提供形態はSaaS型ダッシュボードをはじめ、お客様のニーズに合わせた柔軟なご提案ができるコンサルティング力と技術力を強みとしています。また、ダッシュボードやシステムの定着を促すワークショップを開催するなど、導入後のサポートにも力を入れています。						
	技術紹介図	都道府県間・市区町村間の移動をモニタリング可能です。特定の市区町村へ、いつ、どの自治体から来る人が多いのかを分析することができます。  LocationMind xPop © LocationMind Inc.						
	技術の海外展開について	アジア	すでに展開している	アフリカ	すでに展開している	中東	すでに展開している	欧州
ロシア		要望があれば検討	オセアニア	要望があれば検討	北米	要望があれば検討	中南米	要望があれば検討

活用事例	対象国	インドネシア																
	都市名	ジャカルタ																
	プロジェクト名	公共交通改善スマートプランニングツール開発																
	プロジェクト概要	インドネシアでは急速なモータリゼーションによる渋滞や大気汚染、公共交通利用者の急減が課題であり、データに基づく交通政策（EBPM）の推進が求められています。 本ツールは大手通信事業者から匿名化・統計加工済みの携帯電話基地局データを調達し、市民の移動ニーズを可視化・最適化、新規路線・運行計画の策定や、運行効率化を支援するシステムを開発しました。自治体や学術機関、市民団体等へのワークショップを通じて利用促進を図り、交通計画のデジタル化に貢献しています。																
	プロジェクト紹介図	携帯電話の位置情報を利用した需要可視化・新経路プランニングダッシュボード 																
	プロジェクト紹介Webサイト																	
SDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																		
備考 （受賞歴など）	・2021 Smart 50 Awards (as Small World AI Project) ・R&D100 (finalist) (2021) ・HINO ACCELERATOR 2021～HINO DE SAFARI～ 優秀賞 (2021) ・Creww イノベーションアワード2023「グローバルチャレンジ賞」受賞 (2023) ・第10回「JEITAベンチャー賞」 (2025)																	